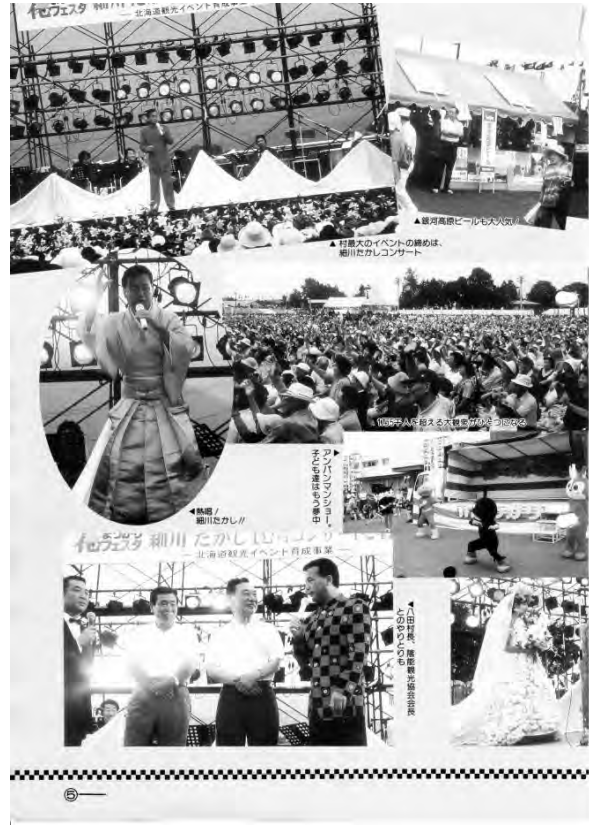




1998年10月号広報まっかり



1998年10月号広報まっかり



1999年4月号広報まっかり



2000年1月号広報まっかり

「誰にも負けない」
「特技を持つこと」



広報 まっかり 2000 4

スポーツレポーター
益子直美さん
『村づくり住民の集い』で講演

スポーツレポーターの益子直美さんです。現在、日本テレビ「プロ野球中継」のキャスターとして活躍中。講演では、村づくりの大切さや、住民の集いの重要性について話しました。

●発行：北海道虻田郡真狩村
●編集：総務課総務係

ご家族みなでお読みください。平成12年(2000年)4月1日 No.429

2000年4月号広報まっかり

落語家 立川志の輔さん
「村づくり住民の集い」で講演



「笑いコミュニケーション」

広報 まっかり 2001 4

ご家族みなでお読みください。平成13(2001年)4月1日 No.438

NHK「だめしてガッテン」や、CM・ラジオなどのさまざまなメディアで活躍中の落語家、立川志の輔さんが来村し、『村づくり住民の集い』で講演しました。

舞台にあがっていきなり花束贈呈を受け立川さん。「最初に花束をもらったらもう終わっちゃうように思えますね」と会場を清々させました。

講演は「笑いコミュニケーション」というテーマで進められ、「笑った時間が多かった人こそ人生の成功者」と語り、「つらいことが起きたときにいかに笑うか、そしてそれができる人が本当に利口な人です」と話していました。

落語とは常に生きることと語る立川さんは講演の中で、さまざまな小話を披露しながら「笑うことは嬉しいことですが本当に笑うことができる人は人間だけ。笑うことは体がいい。大いに笑い、自分の体をきちんと維持していいはず生き延びます。」と、「だめしてガッテン生ハーション真狩編」といって講演を締めくくりました。

●発行：北海道虻田郡真狩村
●編集：総務課総務係

2001年4月号広報まっかり

「長生きの秘訣とは感動すること」

新春



佐藤のりゆき氏 真狩で講演

広報 まっかり 2001 2-3

ご家族みなでお読みください。平成13年(2001年)3月1日 No.427

テレビ番組「のりゆきのトーク北海道」でおなじみのフリーキャスター、佐藤のりゆき氏が来村し、1月26日、講演会が行われました。

佐藤氏が壇上に現れたその印象は「トーク北海道」そのままで、その巧みな話し振りに観客も大いに楽しんでいました。

佐藤氏は講演の中で「自立した夫婦同士がお互いの夢を持って生きていくのが最も良い人生だ。」と述べ、男性と女性がそれぞれ自立することの大切さを語っていました。

また、長生きする秘訣は「どんな小さなことでも感動すること」と述べ、観客も納得の表情で聞いていました。


講演前には、真狩村にはなじみ深い栗柳眞理さんからのメッセージも届いていました。

●発行：北海道虻田郡真狩村
●編集：総務課総務係

2001年2・3月号広報まっかり

快挙！全国第3位！！

真狩小学校5年生 藤川淳くん
全国小学生陸上競技交流大会



七月十四日に帯広市で行われた全道小学生陸上記録大会の男子一〇〇mで、見事優勝した真狩小学校五年生の藤川淳くんが八月二十四日、東京の国立競技場で開催された全国小学生陸上競技交流大会の男子一〇〇mに出場、三位という素晴らしい結果を獲し、その実力が全国トップクラスの實力を証明！

トップクラスであるというのを証明しました。この日の体調は決して良くはなく、また向かい風でもあったのでコンディションも良いとはいえませんでした。しかし、決勝では各県の強豪と競り合い、二秒六三という好タイムで三位入賞となりました。

藤川君は入賞してうれしかったけど、やっぱり悔しさはあります。もっと練習しとけばよかった。と、自分の結果には決して満足していない気持ちを述べ、「来年も全国大会を目指したい。そして今度は優勝を狙ってきたい。」と来年への目標を語ってくれました。

●発行：北海道虻田郡真狩村
●編集：総務課総務係

2002年10月号広報まっかり

元読売ジャイアンツ投手 植原寛巳氏
「村づくり住居のつどい」で講演



2003 3 No.458
まっかり
広報

平成14年度「村づくり住居のつどい」が2月17日に公民館で開催されました。毎年著名な方を講師に迎えて行われるこのつどいですが、今回は、元読売ジャイアンツの投手で現在は野球解説者として活躍している、植原寛巳氏を講師に迎え「巨人軍生活を振り返って」というテーマで講演されました。講演では、中学・高校時代の野球生活や教職経験とのFAに力がかかるエピソード、完全試合を達成したときのこと、プロ野球界の風潮などを話していただきました。また、講演の後半では、会場に来ていただいた小学生・中学生の野球部員に直接指導するコーナーや記念撮影もあり、野球好きにとって貴重な一時間となりました。

寂敷みんなどお読みください。平成15（2003）年3月13日

2003年3月号広報まっかり

八洲秀章さんの生涯を一冊に

真狩村出身の作曲家、八洲秀章さんの伝記「さくら貝と歌〜八洲秀章の生涯」を二月二十八日より販売いたします。

A5判 定価三、〇〇〇円

この本は、同じく真狩村出身で現在東京在住のフリーライター・下山光雄さんが、東京鎌倉、札幌での取材をはじめ、関係者の寄稿やインタビュー、さらには羊蹄ふるさと館の資料などをもとに約一年間かけてまとめあげたもので、村内関係者はもちろん北島三郎さんや島倉千代子さんからのコメントなど音楽関係者が多数登場します。

八洲秀章（本名 鈴木 義光）さんは、開拓者の次男として生まれ農作業に従事するものの、十七歳のときに大きなけがをし、これを契機に作曲を志します。

上京してからも多くの苦難



それから十八年が経過し、八洲さんを知る世代も少なくなってきたこと、村の文化、芸能に大きく貢献されたことを記録に残すことが求められていたことから、このたびの出版となりました。

この本から「拓者の精神」「郷土愛」「両親への感謝」など多くのメッセージを受け止めていただき、村内外に広く購読いただきますようお願いいたします。

本の購入を希望される方は、役場振興課窓口にて取り扱っておりますので、ぜひお問い合わせください。

また、村外からの希望は、代金を次のほうまで希望は、いただいた後、郵送いたします。

お問い合せ先
真狩村役場振興課
真〇一三六―四五一三六―三
五〇一三六―四五一三六―三
郵便振替 振興課直進
〇二七九〇一四―二二八〇〇
口座名 真狩村役場
銀行振込
北海信用金庫真狩支店
口座名 普通 二四八二一
真狩村収入役

2003年3月号広報まっかり



そば打ち 勉強できました 真狩で「教室」

【真狩】公民館講座「そば打ち教室」が十八日、村の趣味サークル「ひまわりクループ」（佐々木孝代氏のメンバー）を講師に迎えて開かれた。つなを一切使わない「土型そば」づくりに取り組んだ。

参加者は自宅から包丁やめん棒を持参する熱の入れよう。講師を務めた野久仁子さんの実演のあと、参加者はグループに分かれ、回る回る。

評価は上々

「は力を入れないで」「そばが乾くので作業は早くなど指導を受けながら、そばを打った。

完成したそばを頭んどの試食会では、とてもおいし。

我流でやっていた部分もあり、大変勉強になりました」と評価は上々。男性では一人参加した妹尾清美さんは「初めての体験でしたが、風切ったのが簡単でした」と感嘆していました。（板敷千穂通信員）

2003年12月20日北海道新聞



先ずの手はとぎで挑戦したモーター作り

回れ！手作りモーター 真狩で座 子供講座

【真狩】村教委主催の子供講座「木曜館」がこのほど、村公民館で行われ、村内の小・中学生から三年生までの三十人がモーター作りに挑戦した。

エナメル線でコイルを巻き、電流を導くと、周囲の永久磁石の間の反発力で回る。講師を務めた真狩高の先生の指導を得て、子供たちはお互いに教え合いながら、熱心に取り組んだ。

低学年の児童には少し難しかったようで、時間内にはコイルを回すところまでいかなかった子供も多かったが、「なぜ回らないの？」と質問し、「家に持ってきて回してみせる」と口々に話していた。（板敷千穂通信員）

2003年12月22日北海道新聞

楽しんで体調確認
真狩で村健康まつり
保健師が生活習慣指導



【真狩】第十四回村健康まつり。真狩村健康まつり。保健師が生活習慣指導。

血液の年齢「血液の年齢」を測る参加者たち。健康まつりがこのほど、真狩村健康まつりセンターで開かれた。楽しみながら健康状態や体力を確かめてほしい、今年も多くの住民が参加した。中でも注目されたのは、血行チェックと血圧測定で、簡単な検査で血液の年齢が分かるという、二十分待ちの行列ができる人気。測定の後には健康に生活習慣などについて指導を受け、熱心に聞き入っていた。このほか、食品モデルを展示した栄養バランス「ちほいらん」を推進の指導や食生活改善推進員会によるおやつ試食など、会場を訪れた人々

【真狩】第十四回村健康まつり。真狩村健康まつり。保健師が生活習慣指導。

2004年1月19日北海道新聞

活性化まじり行動から
■真狩村商工会の40年講演■
講師、商店街対策で訴え



【真狩】商工会の創立四十周年記念特別講演会がこのほど、村会館で行われ、真狩村商工会の活性化をテーマに、商工会の活性化を訴える講演が行われた。

講演者「真狩村商工会」の代表者として、講演を行った。講演内容は「真狩村商工会の活性化」をテーマに、商工会の活性化を訴える講演が行われた。

講演者「真狩村商工会」の代表者として、講演を行った。講演内容は「真狩村商工会の活性化」をテーマに、商工会の活性化を訴える講演が行われた。

講演者「真狩村商工会」の代表者として、講演を行った。講演内容は「真狩村商工会の活性化」をテーマに、商工会の活性化を訴える講演が行われた。

2004年1月28日北海道新聞

真狩 年の差を越えて額に汗
世代間ゲームなど楽しむ



【真狩】村会館の「村健康まつり」が、小学生から70代の約千人が参加して、村会館で開催された。村会館の「健康まつり」で、世代間ゲームなどを楽しむ参加者たち。

【真狩】の健康まつり。世代間ゲームなど楽しむ参加者たち。

2004年3月10日北海道新聞

「みんなが顔見知り 真狩村素晴らしい」
AETのアンニータさん

【真狩】村教委主催の高齢者学校「桂長寿大学」がこのほど、村のAET（英語指導助手）アンニータ・リエンさん（ミカ）が、村保健福祉センターで開かれた。

一年半前に赴任したアンニータさんは「日本・カナダあれこれ」と題して流暢な日本語で、「日本人の持つ外国人のイメージ」「カナダの食文化」などについて話した。

「真狩村の印象は」と「小さい村で驚いたが、一っついで素晴らしい」との参加者からの質問には「みんなが隣人の名前を知っている」と答えた。



真狩の印象などを語るアンニータさん

2004年3月26日北海道新聞

枝豆や男爵イモ 楽しく植え付け 真狩の体験活動

【真狩】「真狩」は、秋の収穫祭として、毎年10月に行われる。今年も、小学1年生から小学6年生まで、約100名の子供たちが参加し、楽しく植え付けを行った。今年も、小学1年生から小学6年生まで、約100名の子供たちが参加し、楽しく植え付けを行った。



枝豆やジャガイモを植える子供たち

2004年5月31日北海道新聞

真狩小2年生16人種を集めて鉢植え

【真狩】真狩のサクラ並木は、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、約100本のサクラが咲き誇ります。今年も、真狩小2年生16人が、種を集めて鉢植えを行いました。



サクラ並木受け継ごう 今年も、真狩小2年生16人が、種を集めて鉢植えを行いました。今年も、真狩小2年生16人が、種を集めて鉢植えを行いました。

【真狩】真狩のサクラ並木は、毎年4月下旬から5月上旬にかけて、約100本のサクラが咲き誇ります。今年も、真狩小2年生16人が、種を集めて鉢植えを行いました。

2004年7月8日北海道新聞



熱戦を繰り広げる両町の選手たち

一度限りのプレイ 真狩の野球対戦

【真狩】真狩の野球対戦は、毎年7月に行われる。今年も、真狩小と真狩中との対戦が行われ、両校の選手たちが熱戦を繰り広げた。

2004年7月30日北海道新聞

ユリの黄色鮮やか 真狩



【真狩】「ユリの黄色鮮やか」の研究会が、今年も写真展を開催しました。今年も、真狩小の研究会が、ユリの黄色鮮やかな写真を展示しました。

【真狩】「ユリの黄色鮮やか」の研究会が、今年も写真展を開催しました。今年も、真狩小の研究会が、ユリの黄色鮮やかな写真を展示しました。

2004年9月24日北海道新聞

